

### 3 生活環境について

#### (1) 土地利用について

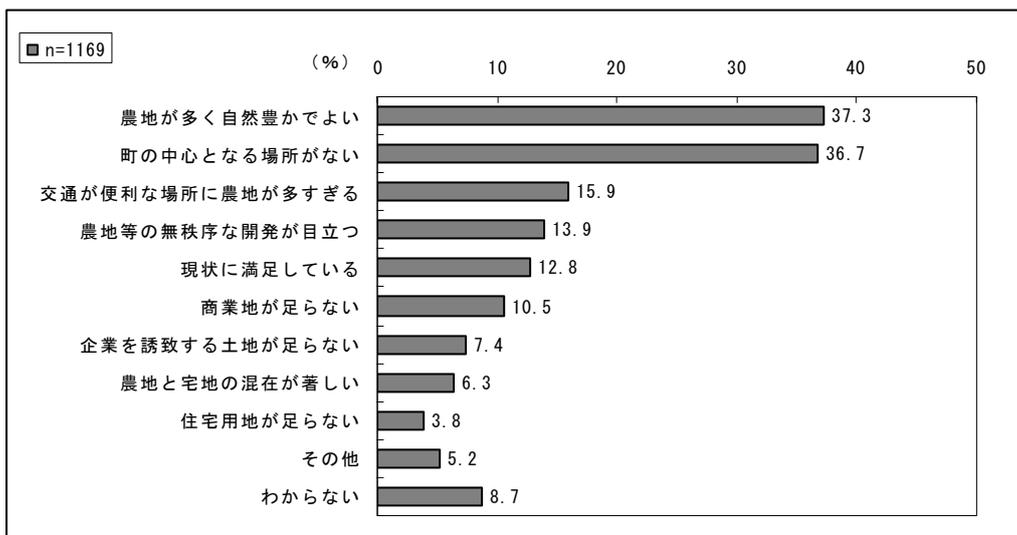
問6 土地（農地、宅地、道路、河川、公園等）の使われ方のことを「土地利用」といいますが、阿久比町全体の土地利用について、あなたはどのように思いますか。【複数回答】

- 「農地が多く自然豊かでよい」、「町の中心となる場所がない」が上位を占める。

土地利用については、「農地が多く自然豊かでよい」（37.3%）及び「町の中心となる場所がない」（36.7%）が他を大きく引き離して上位を占め、次いで、「交通が便利な場所に農地が多すぎる」（15.9%）、「農地等の無秩序な開発が目立つ」（13.9%）、「現状に満足している」（12.8%）などの順となっている。〔図表 25 参照〕

これを性別・年齢別・居住地区別でも、すべての層で「農地が多く自然豊かでよい」及び「町の中心となる場所がない」が上位を占める。

図表 25 土地利用について（全体／複数回答）



## (2) 優先すべき土地利用について

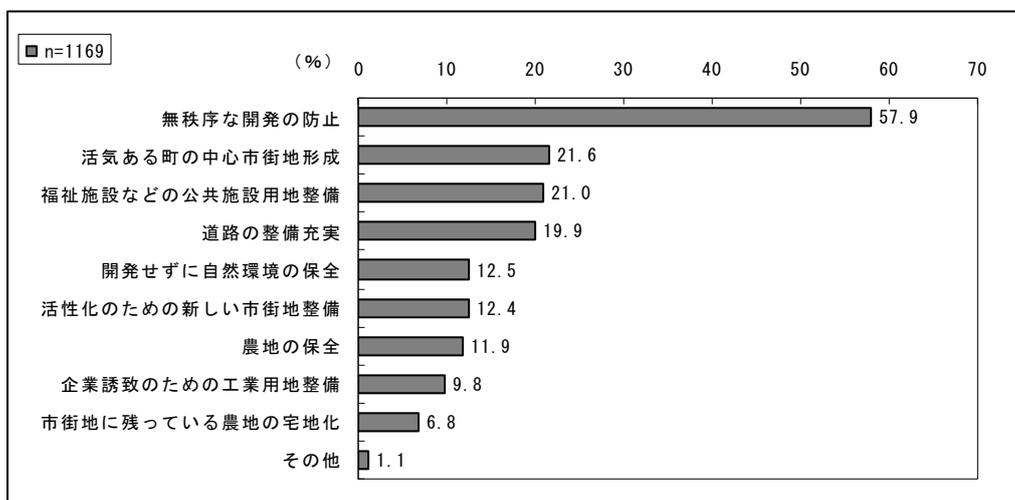
問7 あなたは、これからの阿久比町の計画的な土地利用を進めていくうえで、優先的に  
行うことはどれだと思いますか。【複数回答】

- 「無秩序な開発の防止」が他を大きく引き離して第1位。

優先すべき土地利用については、「無秩序な開発の防止」が57.9%と他を大きく引き離して第1位に挙げられ、次いで、「活気ある町の中心市街地形成」(21.6%)、「福祉施設などの公共施設用地整備」(21.0%)、「道路の整備充実」(19.9%)、「開発せずに自然環境の保全」(12.5%)などの順となっている。【図表26参照】

これを性別・年齢別・居住地区別でも、すべての層で「無秩序な開発の防止」が第1位に挙げられている。

図表26 優先すべき土地利用について (全体/複数回答)



### (3) 優先すべき施設整備について

問8 あなたは、身近な生活環境のなかで、特にどのような施設の整備充実が必要だと思いますか。【複数回答】

- 「街路灯・防犯灯」が第1位。次いで「高齢者福祉施設」、「公園、子どもの遊び場」、「道路の改良、舗装」の順。

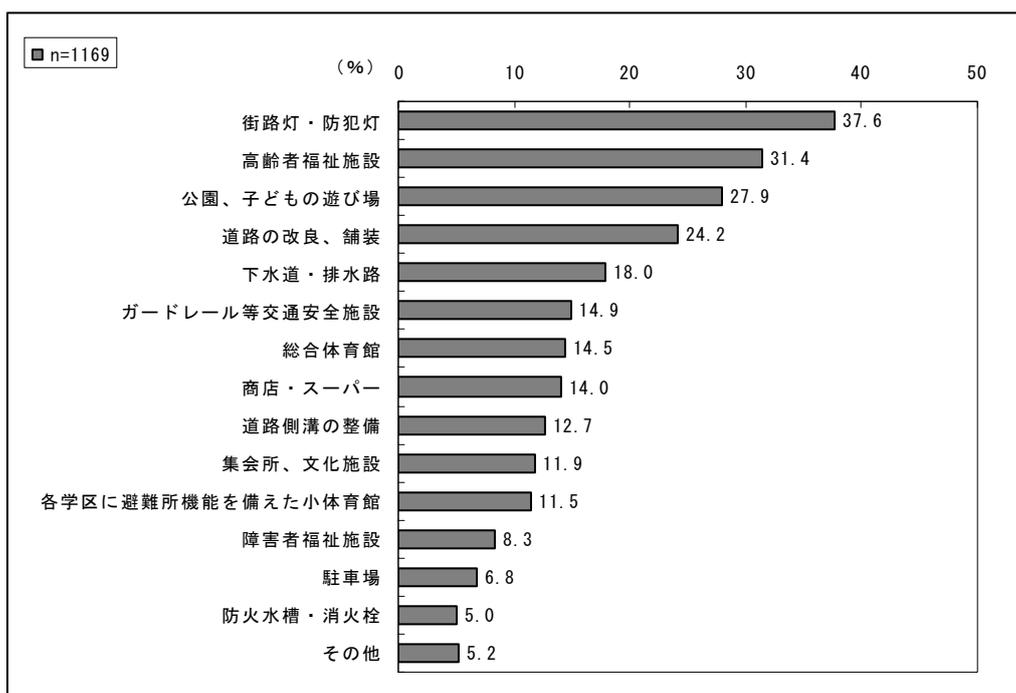
優先すべき施設整備については、「街路灯・防犯灯」(37.6%)が第1位に挙げられ、次いで「高齢者福祉施設」(31.4%)、「公園、子どもの遊び場」(27.9%)、「道路の改良、舗装」(24.2%)が続き、以下、「下水道・排水路」(18.0%)、「ガードレール等交通安全施設」(14.9%)、「総合体育館」(14.5%)などの順となっている。

年齢別で見ると、20代～50代で「街路灯・防犯灯」が第1位となっており、60代以上で「高齢者福祉施設」が第1位となっている。また、年齢別の20代・30代では「公園、子どもの遊び場」(40.3%・41.9%)と回答する人が多く、第2位に挙げられている。

居住地区別で見ると、すべての地区で「街路灯・防犯灯」が第1位となっている。

[図表 27～28 参照]

図表 27 優先すべき施設整備について (全体/複数回答)



図表 28 優先すべき施設整備について（全体、年齢、居住地区）

（上位 3 項目 / %）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		街路灯・防犯灯 37.6	高齢者福祉施設 31.4	公園、子どもの遊び場 27.9
年 齢	20 代	街路灯・防犯灯 44.8	公園、子どもの遊び場 40.3	道路の改良、舗装 32.8
	30 代	街路灯・防犯灯 47.5	公園、子どもの遊び場 41.9	道路の改良、舗装 27.8
	40 代	街路灯・防犯灯 38.8	高齢者福祉施設 27.9	公園、子どもの遊び場 27.4
	50 代	街路灯・防犯灯 37.7	高齢者福祉施設 35.3	下水道・排水路 22.1
	60 代	高齢者福祉施設 44.5	街路灯・防犯灯 30.4	公園、子どもの遊び場 23.3
	70 歳以上	高齢者福祉施設 44.9	街路灯・防犯灯 29.4	下水道・排水路 24.3
居 住 地 区	東部小学校区	街路灯・防犯灯 40.4	高齢者福祉施設 33.3	公園、子どもの遊び場 24.9
	英比小学校区	街路灯・防犯灯 34.6	高齢者福祉施設 33.5	公園、子どもの遊び場 30.6
	草木小学校区	街路灯・防犯灯 40.0	高齢者福祉施設 28.7	下水道・排水路 24.7
	南部小学校区	街路灯・防犯灯 38.7	公園、子どもの遊び場 30.3	道路の改良、舗装 29.3

#### (4) 自然環境や生活環境の保全について

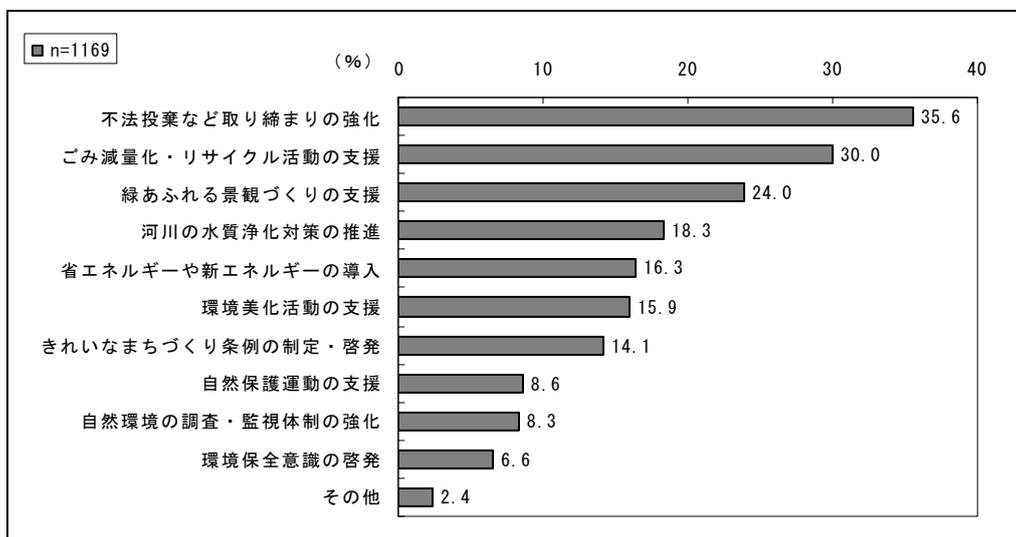
問9 あなたは、地域の自然環境や生活環境を保全するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「不法投棄などの取り締まりの強化」が第1位。次いで「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」、「緑あふれる景観づくりの支援」の順。

自然環境や生活環境を保全するために必要な取り組みについてたずねたところ、「不法投棄など取り締まりの強化」(35.6%)が第1位に挙げられ、次いで、「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」(30.0%)、「緑あふれる景観づくりの支援」(24.0%)が続き、以下、「河川の水質浄化対策の推進」(18.3%)、「省エネルギーや新エネルギーの導入」(16.3%)などの順となっている。[図表29参照]

居住地区別で見ると、東部小学校区では「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」(33.8%)、英比小学校区・草木小学校区・南部小学校区では「不法投棄など取り締まりの強化」(37.8%・41.3%・37.4%)がそれぞれ第1位となっている。

図表29 自然環境や生活環境の保全について(全体/複数回答)



## (5) 消防・防災対策について

問10 あなたは、町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「消防・救急体制（消防署）の充実」及び、「災害時の情報連絡体制の充実」が僅差で上位を占める。

消防・防災対策で重視すべき点をたずねたところ、「消防・救急体制（消防署）の充実」（35.8%）及び「災害時の情報連絡体制の充実」（34.6%）が僅差で上位を占め、次いで「防災施設の整備充実」（26.3%）、「河川など災害発生危険箇所の整備」（24.8%）、「地域における自主防災組織の育成」（17.9%）などの順となっている。〔図表 30 参照〕

居住地区別で見ると、東部小学校区では「災害時の情報連絡体制の充実」（35.1%）、英比小学校区・草木小学校区・南部小学校区では「消防・救急体制（消防署）の充実」（37.3%・39.3%・37.0%）がそれぞれ第1位となっている。

図表 30 消防・防災対策について（全体／複数回答）

